

SUPER HAPPY TRAIN PROJECT

河合 賢一 さん
平成筑豊鉄道株式会社 代表取締役社長

託された夢と希望を沿線地域へ届けたい

昨年の企画中止後、平筑は乗客の減少等で経営難が続きました。希望が見え始めた今、このプロジェクトに私たちもパワーをもらえた気がします。夢と希望を地域に届けるため、皆さんから託された「スーパーハッピー号」で元気に沿線を駆け抜けようと思います。



高津 勝平 さん
福智町商工会青年部 部長

子どもたちの元気は福智町の元気の源

コロナ禍で辛い思いをする子どもたちに「何かできることがないか」と考えていた時、この企画の支援を依頼され、すぐに参加を希望しました。当日の楽しそうな子どもたちの姿を見て自然と大人も笑顔になっていました。今後も町の宝を支える取組を行っていききたいと思います。



産学官連携により、実現された「スーパーハッピートレインプロジェクト」。子どもたちとともに「スーパーハッピー号」を描き創り上げた4人を取り材しました。

立入 真秀 さん
日本航空 九州支社 販売部地域活性化推進グループ

熱意で生まれた魅力ある新コンテンツ

今年3月から福智町を担当することになり、前任者に引き継いでこの企画に携わりました。多くの熱意がこもった新たな取組で、魅力あるコンテンツが完成したと感じています。今後も福智町や関係機関との連携を深め、今までにない取組を行っていききたいと思います。



堀川 純規 さん
福智町立金田義務教育学校 教諭

コロナ禍を成長する好機と受け止めて

新型コロナウイルス感染を避けるため、学校行事をしたくてもできない日が続いたこの1年。何もない中で、「できることは積極的に取り組む」という主体性が生まれた気がします。このプロジェクトでも、楽しみつつ真面目に取り組む様子を見て、子どもたちの成長を感じました。



「スーパーハッピー号」今月17日から出発進行

完成お披露目式の開催が決定！

子どもたちの手で鮮やかに彩りをまとった「スーパーハッピートレイン」。現在着々と運行開始に向けた準備が進められており、間もなく「ハッピートレイン号」が完成の日を迎えます。運行開始に先がけ「完成お披露目式」の開催が決定。「最高にハッピーな列車」が運行を開始する瞬間をミヤザキケンスケさんと子どもたちと一緒に祝福しませんか。

完成お披露目式 ▶ **4月17日(土)**

場所 ▶ 平成筑豊鉄道 金田駅内(車庫)

時間 ▶ 12時30分～(予定)

記念運行 ▶ 金田発 13:26 / 直方着 13:40
直方発 14:05 / 金田着 14:19

※ 「ことごと列車」も13:26には金田駅1番ホームに停車中
※ 記念運行では、プロジェクトの関係者が乗車するため、通常のご利用ができません。



※この画像はイメージです。

アートが持つ可能性 気付いた大きな転機

「アートが持つ力って何なんだろうって、絵を描き始めた時から考えていました」と遠い日を遡るように語り始めたミヤザキさん。高校からアートの世界に入り、展覧会などで自分の描いた作品が一部の人の目にしか鑑賞されないことに違和感を覚えていたといいます。そんなミヤザキさんに大きな転機が訪れます。今から十年前に日本を悲しみの渦に巻き込んだ「東日本大震災」です。

ミヤザキさんは「何か自分にできることはないか」と災害発生後、すぐに被災地を訪問。営業を再開しようとする理髪店の仮設店舗を外装ペイントするボランティアを始めます。次第に被災地の方々が「未来への希望を感じる」と、ミヤザキさんの取組を支援。気づくと、ボランティアの場が「コミュニティ」や情報発信の場になっていくことを通し「アートにしかできない大きな可能性に気づいた」と振り返ります。



「ミヤザキさんがボランティアとして携わった被災地の中心に店を構える「ユニー清水」。当時を自分が絵を描く理由を見つけた瞬間でした。公式ブログ「OVER THE WALL」な世界」でつづけている。

新型コロナという人生の壁に
直面する子どもたちの将来の
大きな糧になると信じてます

オーバーザウォール OVER THE WALL

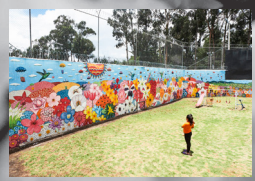
あらゆる壁を超える。その先には――

ミヤザキさんが被災地や世界各地での経験を通してコロナ禍を生きる福智町の子どもたちへ伝えたいことは何か「スーパーハッピートレインプロジェクト」に込められた想いに迫ります。

1年1か国、世界中で地域とともに壁画を残す「OVER THE WALL」



ハイチ(2019.6)
国境なき医師団と協力し、同団体の病院に壁画を描写。患者自身も参加することで、精神的ケアにも貢献。



エクアドル(2018.9)
首都の女性刑務所に収監される女性受刑者とその施設で母親と一緒に暮らす子どもたちと共同で刑務所内の壁画にペイント。



ウクラウナ(2017.7)
東部に位置するマリウポリ市で、いまだに騒乱の弾痕が残る学校に平和のメッセージを込めた壁画を残した。



東ティモール(2016.8)
インドネシアから独立した新国の首都デリの国立病院の壁に、孤児院や小学校の子どもと明るい未来を表現した。



ケニア(2015.1)
ナイロビの小学校の新校舎に子どもたちとともに壁画を描き、日本の小学校とつながるプログラムも実施。